

繁栄の明日へ

地域の新しい可能性を拓く一般国道418号丸山バ

新丸山ダム建設事業は、洪水調節、流水の正常な機能の維持及び発電を目的とした多目的ダムで、現在の丸山ダムを24.3m嵩上げて、新しく生まれ変わるダムです。

新丸山ダムの建設に伴い洪水時に湛水する一般国道418号の付け替えについては、平成8年から工事着手しており、今回供用する区間は、八百津町内の八百津(丸山トンネル東側坑口)から潮の約9kmです。現在利用されている道路は、幅員が狭少であり急カーブ・急勾配の区間を含んでいますが、この供用開始によってこれらの区間を回避することができ、安全性の向上及び通過時間、距離縮が図られることになり、八百津町及び周辺地域の発展が大きく期待されます。

主な構造物(橋梁・トンネル)

- A** ささゆり橋(ささゆりはし) L=90m
- B** 人道橋(じんどうばし) L=150m
- C** 杣沢橋(そまざわばし) L=169m
- D** めい想橋(めいそうばし) L=74m
- E** 新旅足橋(しんたびそこばし) L=462m
- F** 鷺ヶ峰トンネル(わしがみね) L=417m
- G** 下立トンネル(おりたち) L=370m

